

2年 社会 (週3時間)

・担当：小池…週1時間<地理的分野「日本の諸地域・身近な地域の調査」>

竹本…週2時間<地理的分野「世界から見た日本の特色」>・<歴史的分野>

1 教科の到達目標 (学習のねらい、身に付けたい力)

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 年間学習計画と単元(題材)

小池担当：週1時間<地理的分野「日本の諸地域・身近な地域の調査」>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
1 ～ 3 学期	4 ～ 2	・日本の諸地域	・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	・日本の諸地域を自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかの視点からそれぞれの地域的な特色をとらえることができる。
	2 3	・身近な地域の調査	・土地利用図の見方 ・身近な地域の調査「フィールドワーク」	・地図記号、縮尺、等高線、グラフなど地域調査に必要な能力を身に付ける。 ・生活している地域の知識や関心を高める。

竹本担当：週2時間<地理的分野「世界から見た日本の特色」>・<歴史的分野>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
1 学期	4 5	・世界から見た日本の地域的特色	・日本の自然環境 ・日本の人口 ・日本の資源・エネルギーと産業 ・日本と世界の結び付き	・日本の各地域の特色を自然環境人口、資源エネルギーと産業、地域間の結び付きの視点から大観することができる。
	6 7 9 10 11 12 1	・近世の日本と世界	・天下統一への歩み ・幕藩体制の確立と鎖国 ・経済の成長と幕政の改革	・織田、豊臣による統一事業を理解する。 ・江戸幕府の成立と鎖国政策、幕藩政治などを理解する。 ・経済の発達と町人文化や政治改革を多面的・多角的に考察し、表現している。
2 学期	1	・近代の幕開け	・近代世界の確立とアジア	・市民革命や産業革命の影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。
3 学期	2 3			

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評価方法
社会的事象についての知識・理解 および資料活用 の技能	<ul style="list-style-type: none"> 資料を適切に活用して、ワークシートに取り組んでいる。 テストにおいて資料から適切な解答ができている。 社会的事象についての理解を深め、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト 定期テストにおける資料読み取り問題
社会的な思考・ 判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> テーマに沿ったレポートを作成できている。 テストにおいて、記述問題に解答できている。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート、小テスト 定期テストにおける記述問題
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業準備をし、私語をせず、真剣に授業に臨んでいる。 提出物を提出できている。 社会の動きを新聞やニュースなどから読み取り理解し関心をもっている。 作成したレポートを簡潔に分かりやすく発表できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 提出物 (ノート、ワークなど) 定期テスト レポート発表

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・ノートの取り方について黒板に書かれたことは、その時間の記録です。必ず書き写しましょう。字は丁寧にはっきりと書きましょう。
- ・わからないことをそのままにしないで、休み時間や放課後を利用し積極的に質問しましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・宿題について・・・宿題はやらねばならない課題です。教科書を読んで取り組んでかまいません。丁寧に調べて取り組みましょう。
特に、今年の地理では日本地理を扱います。歴史分野と同様に漢字で覚えてほしい用語があります。普段から漢字を使う努力をしましょう。
- ・復習について・・・その日に授業で学習した部分は、教科書やノートを読み直して復習をしましょう。また、ノートの余白に自分の感想や疑問を書きましょう。疑問に思ったことは、調べたり先生に質問したりしましょう。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・ノートや配布プリントには授業の要点がまとめられています。ノートや配布プリントを中心に勉強しましょう。
- ・資料から情報を読み取る問題も出題します。資料集の統計資料や写真などをよく確認しておきましょう。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・毎時間の授業では黒板に書いたことを丁寧にノートに書き写すようにしましょう。
- ・授業の復習を丁寧にやりましょう。(復習のやり方は5で説明したとおりです)